

7月 1日 ドラゴンボート決勝レースは1.6秒差



アクシデントに見舞われた準決勝レース

ドラゴンボートレース霞ヶ浦大会
七月一日、十八チームの参加によるドラゴンボートレース霞ヶ浦大会が、歩崎公園地先の霞ヶ浦湖上で開催されました。
大会は、県外から出場した「ボン・イノージ」が、東京都の「裏鈴龍団」にわずか一・六秒差で勝利し、大会二連覇を達成しました。
レース後には、圓城寺副市長と観光大使から、上位入賞者に賞状トロフィーのほか、優良特産品などの賞品が贈られました。
ドラゴンボートレースは、霞ヶ浦大会とあゆみ祭りの年二回開催されており、県内外から多くの参加者と応援者でにぎわっています。

命の大切さを訴える本を執筆 7月 12日

石塚さんの児童書が県優良図書に
上土田の石塚花梨(本名・石塚美智子)さんが出版した児童書「負けるな!ミツバチ「ナナ」」が、七月十二日に県の優良図書(小学校・中学年向け)に推奨されました。
物語は、生まれつき左羽がないミツバチのナナが、いじめに遭いながらも強く生き、勇気をふりしぼってスズメバチと闘い、女王に選ばれるという筋書きです。
石塚さんは、自ら乳がんを患い左胸を摘出。「病気になるって命の大切さや尊厳を実感しました。いじめによる自殺を食い止めたい。生きる希望を失わないでほしい」と訴えています。
また、ブログ上で知り合い、この本に共感した友人二人の協力により絵本も作成され、市の図書館などで見ることもできます。



負けるな!ミツバチ「ナナ」(絵本)の挿絵

7月 23日 新作物推進協議会がブルーベリーをPR



知事室を訪れた市長と新作物推進協議会役員(左から圓城寺正道氏、坪井市長、橋本県知事、坂尚武会長、圓城寺英男氏)

県庁など県内四力所に表敬訪問
七月二十三日、市新作物推進協議会(坂尚武会長)の役員と坪井市長が、八月いっぱい収穫が楽しめるブルーベリーの消費宣伝のため、県庁の橋本県知事を訪問しました。
生のブルーベリーをはじめ、ジャム、ブルーベリー葉茶などを試食した橋本県知事は、「生も良いが、ジャムを入れたヨーグルトも食べやすい。加工品にすることで、消費量も増えるのでは」と言及しました。「味に一番厳しい評価をするのは県知事ですから」と語る坂会長も、県知事の言葉にほっとした様子を浮かべました。
市のブルーベリー生産面積は、県内でつくば市に次ぐ十二ヘクタールで、年々増加傾向にあります。



西成井煙火ばやし
7月21日・22日の西成井八坂神社の祇園祭に、「成井ばやし」が奉納されました。祇園祭は、西成井祭保存会によって神輿、山車、獅子、花火などが毎年行なわれており、市内で最も華やかな地域の祭礼の一つです。
「成井ばやし」のリズムは、「シンバカ」、「しちょうめん」、「ミンパ」の3種類あり、踊りは、シン舞、キツネ踊り、ひょっこ、おかめの4段からなります。

山車を回転させて花火と演舞を披露 〇おかめの面を付けた女の子 〇唐傘万灯とナイアガラの花火 〇子どもたちによる獅子山車の囃子や踊り 〇お産と五穀豊穡の神様とされるキツネの舞「キツネのツツころがし」

成井ばやし 7月 21・22日

「成井のひょっこ」でおなじみ 《昭和63年 旧出島村無形民俗文化財指定》

伝統を守り続ける2つの市無形民俗文化財

なぎなた 薙刀1本で藤づるに挑む! 7月 28・29日
《平成11年 旧霞ヶ浦町無形民俗文化財指定》

藤切り祇園祭



7月28日・29日の深谷八坂神社祭礼で、「藤切り祇園祭」が、宵祇園の28日に行なわれました。祭礼は、八坂神社を祀る深谷が5集落に分かれ、5年に一度上当(当番)がまわってきます。神輿が藤切り坂にさしかかると、先手を邪魔する藤づるが現れ、薙刀で四苦八苦して切り落とします。これには、幾多の困難を乗り越える意味があります。

〇土手の両脇から振りまわされる藤づるを切り落とすのは上当(今年は深谷下郷)の壮士 〇囃子に参加していた女の子 〇上当の壮士に担がれ八坂神社を出発した神輿 〇囃子を乗せ集落を練り歩く山車 〇檜木の丸太をナラクヌギの小枝で包んだ「大魚」

